

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱コンキウ三崎加工場 新築工事	階数	地上2F
建設地	三浦市三崎五丁目255-5他一筆の各一部	構造	S造
用途地域	準工業地域、第二種高度地区	平均居住人員	25人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022/4/1 予定	評価の実施日	2021年8月4日
敷地面積	2,732㎡	作成者	株式会社 深沢義昭設計事務所
建築面積	1,635㎡	確認日	2021年8月4日
延床面積	2,275㎡	確認者	株式会社 深沢義昭設計事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
材料の加工手間の削減、施工期間の短縮、解体時の負担減を狙いシステム建築による躯体を採用した		1階床面をGLより1m高い位置に設定することにより、水位があがった際の室内被害を免れる計画とした
Q1 室内環境	食品加工という建物用途により、作業室内の空調、換気については通年一定の清浄度・室温を保つ計画とした	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	外壁材及び屋根材の裏面に断熱材を施工し、建物の省エネ性能を確保した	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	従業員の動線を一筆書きとすることで広い作業室内を効率よく移動できる計画とした	残渣の処理については、スクリーンによる過を經由し、下水処理基準を満たした状態の水質を確保したうえで排水する計画とした
LR2 資源・マテリアル	躯体が容易なシステム建築を採用している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される